

<福島県教育長賞>

税金の大切さを考えてみたけれど

喜多方市立第二中学校 3年 雪 緑花

税金についての資料を読んでもたら、「税金って意外とすごいかも」と思うようになった。最初は「なんでこんなむずかしいこと今から勉強しないといけないんだろう」と思ったけど、読んでいくうちに税金はいろいろなところで使われていることがわかった。

たとえば、学校の先生のお給料も税金から出てるらしい。そう考えると「税金払ってる人は先生よりえらいのか？」とかちょっと考えてしまった。でもそれを口にしたら怒られそうだから心の中にしまっておくことにした。

税金の種類もたくさんある。所得税、消費税、住民税、自動車税、固定資産税など。正直、名前を見ているだけでちょっと疲れる。私はまだ中学生だし、税金はまだまだ先のことのよう感じるけど、親が「また税金でお金がなくなる」と言っていたのを思い出してなんか身近な問題なんだなと思った。

消費税は、たとえばコンビニでお菓子を買うときにも関係してくる。200円のものを買うと、レジで「220円だ」と言われ、なんでと思うことがある。あの20円は国に行っているらしいけど、今までに何円くらい税金払ったのか気になり計算したけど、面倒くさくてやめた。

税金は、学校や道路だけでなく、警察や消防、病院にも使われているらしい。火事の際に、無料で消防車が来てくれるのはすごいことだと思う。もしお金を払わないといけないと考えたら

涙がでてくる。

そんなふうに、税金は私たちの生活を助けてくれている。だからといって「税金最高」にはならない。将来、大人になったら「え、こんな引かれるの」となっていると思う。

そうなったとき、「これは未来の子供たちのために使われるんだな」と思えるような大人になりたい。

結論として、税金は「なくては困るけど好きにはなれないもの」だと思った。野菜でたとえると、ピーマンのような存在。体に良いことは分かっているけど、できれば食べたくない。そんな感じ。

私はまだ子どもで、税金のことをちゃんとわかっているわけではない。でも今回の資料を読んでちょっとだけ考えることができた。将来、大人になったときに「税金のこと資料で読んだな」くらいは覚えていようと思う。